

2005年7月25日

各位

メディシノバ・インク  
プレジデント、チーフ・エグゼクティブ・オフィサー  
清泉 貴志  
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)  
問合わせ先 財務担当ヴァイス・プレジデント  
鈴木 譲二  
電話番号 03-3519-5010  
E-mail info@medicinova.com

### 平成 17 年度中間期臨床開発プログラム進捗概況

2005年7月25日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク（米国カリフォルニア州サンディエゴ、プレジデント・CEO:清泉貴志）は平成 17 年度中間期における臨床開発プログラムの進捗状況を総括いたします。

当社は、当上半期に、間質性膀胱炎治療の適応、及び気管支喘息治療を適応とする MN-001 のフェーズ 2 の臨床試験をそれぞれ開始いたしました。また、昨年 12 月より開始した MN-305 の全般性不安障害を適応とするフェーズ 2 臨床試験は順調に推移しており、同様に、当上半期に開始した固形癌に対する血管標的薬剤 MN-029 の 2 本目のフェーズ 1 臨床試験も順調に進捗しております。現在フェーズ 2 開発段階の切迫早産治療を適応とする MN-221 は、新規投与方法のための追加フェーズ 1 臨床試験を行っています。また、当下半期には、多発性硬化症の経口治療薬 MN-166 のフェーズ 2 臨床試験を開始する見込みです。さらに、尿失禁に対する新規治療薬として期待される MN-246 に関して、当期中の新薬臨床試験開始申請（IND）提出に向けて努めております。

当社は今後も臨床開発段階の化合物、特に泌尿器科及び産婦人科領域の化合物、をライセンス導入し、製品開発ポートフォリオに加えていく方針です。さらに、現在当社で開発中の気管支喘息、全般性不安障害、多発性硬化症、癌などを適応とする化合物については、臨床開発を共同で行う提携先の探索も積極的にすすめてまいります。

以上

メディシノバ・インクは様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。

弊社の開発パイプラインには切迫早産、癌、気管支喘息、多発性硬化症、不安障害といった様々な病態をターゲットにした化合物が臨床開発段階にあります。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.com> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合州国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには米国証券取引委員会の規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。このプレスリリースにおいて、将来発生することを当社が期待、信頼、あるいは予想している活動、出来事、および進展にかかる記述は、過去の事実を除きすべて「将来の見通しに関する記述」に該当する可能性があります。これらの記述は当社の立てたある前提に基づくものであり、これら前提は経営陣の経験や過去の傾向、現況、期待される将来の進展、およびその時の状況下において適切と判断する他の要因に対する経営陣の認識に基づくものであります。このような記述は多くの前提、リスク、不確定要素の影響を受けますが、これらの多くは当社のコントロールが及ばないものであり、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現されるあるいは示唆されるものと大きく異なることがあります。これらリスクには米国証券取引委員会提出のメディシノバ・インクにかかる文書に詳述されているリスクファクターが含まれています。

\* 本書は英文プレスリリースの日本語抄訳であり、本書の別添として当該英文プレスリリースを添付しておりますので、合わせてご参照いただきますようお願い申し上げます。当該英文プレスリリースは米国において Form8-K として米国証券取引委員会に提出され開示されます。